四季 ―志木自然報告―
Shiki Seasonal Nature Reports 2003

Introduction and Geology

寮の跡地

志木高北側の道路をはさんで向い側の敷地は、本校のかつての寮跡地であった。1962年に有隣寮が、1964年に高翔寮が落成し、多くの寮生が巣立っていった。

この寮跡地は、慶應義塾の財政的な事情により第三者に売却されたが、それに先立って、樹木の構成をまとめておいた。

別の場で詳細にまとめる機会もあろうが、在校生の多くにどのような土地であったかをしっておいてもらう必要があると思い、ここに簡単に掲載したい。

寮の跡地は、南北約300m、東西約200mの縦に長い逆台形であり、北東縁に校内唯一の斜林をもつ。今回の調査により、寮跡地に生育する樹木は（29科46属）53種あり、ムクノキが多い（＝優占する）特徴的な構成であることがわかった。また, 北東側斜面にはアカマツ、クリ、コナラ、クヌギなどを主体として典型的な里山斜面林の構成であった。

また、この寮跡地には、本校敷地内では見つからない、マユミやムクロジ（羽根つきの羽の黒い玉の部分はこれの種）、ツルウメモドキなど木々が生えている。

さらに、林の下に眼を向ければ、やはり本校敷地内にはないネムノキ等の実生がある。

今回は動物まで手が回らなかったが、調査中もかなりの数の鳥類の飛来を確認できた。おそらく、夜間にタヌキやネズミ等のげっ歯類を見ることもできただろうが、記録には残せなかった。

(Miyahashi)

z/c 353-0004 埼玉県志木市本町4-14-1 [tel: 048-471-1361]
慶應義塾志木高等学校

2003年 秋冬号(No. 003.)
2003年 1月 17日発行

志木の自然[神無月(10月)〜睦月(1月)]

神無月以降、校内が実りの季節を迎えるにつれ、カキ等の果実を目当てにした野鳥の来訪が目立つようになる。多くの木々が落葉したことで、枝に留まるシジュウカラやコゲラの姿を確認するのが容易になる。また、早朝は気温が低いために鳥達の活動は鈍く、意外な近さで鳥が観察できたりする。

また、夜の南天にはオリオン座が見えるなど、天体観測に最適の時期はしばらく続く。12月9日ならびに1月1日から3日にかけて、積雪を記録した。

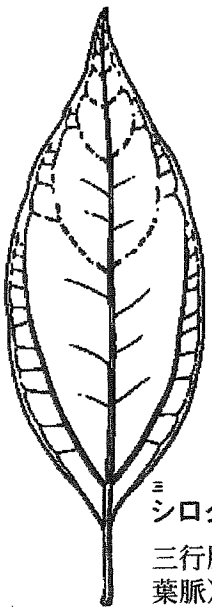
Plants [10月〜2003年1月までの記録とこれからの見通し]

この時期の志木高内は、落葉樹が葉を落とすため、逆に常緑樹の確認が容易である。樹に巻き付いて結実しているのはキヅタ。同じく結実して、手のひらのように裂けた葉をもつヤツデ。ときに斑入り(ふいり:白い斑点が入っているもの)の葉をもつアオキ。葉裏が白いシロダモ。これらの木々は冬の林床部に目立つ低木類である。

(Miyahashi)

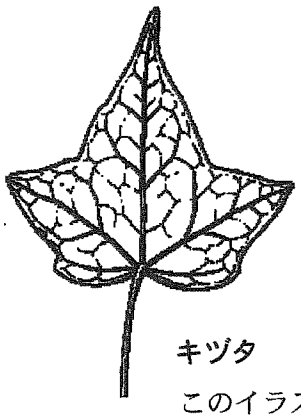
この限られた紙面では、どのような植物、動物かをすべてお示しする事は不可能です。名前を手がかりにぜひ図書館で一度調べてみてください。

この時期に見やすい校内の常緑樹



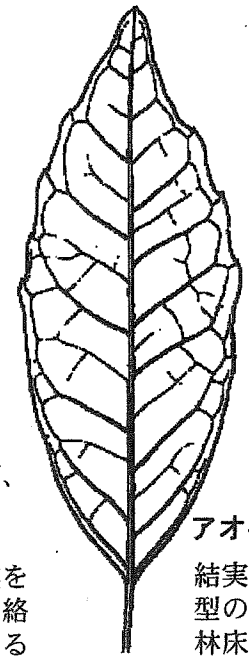
シロダモ

三行脈（3本の太い葉脈）が目立ち、葉裏が白いので区別しやすい。2-3mの低木。



キヅタ

このイラストのように三裂するのが普通だが、別れない場合もある。この時期、直径3mm程度の褐色で球形の実をつけている。他の樹に絡み付いて青々としているので、わかりやすい。



アオキ

結実期には赤い楕円型の実をつける。林床部等に多く見られる。斑入りのものもある。

Animals

2002年12月から2003年1月までの野鳥来訪観察記録

2002年10月から2003年1月にかけて、志木高で観察された鳥は次の通りです。

キジバト、アオバズク、アオゲラ、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、アオジ、クロジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシブトカラス、ハシボソカラス。

斜路横の芝生で10羽前後で群れながら、土を突ついているのはムクドリ。番(つがい)で歩いていることが多いハトは、キジバトです。

(Hayami)

Astronomy

年の暮れ

年の暮れ、天文部の生徒たちと望遠鏡を使って土星を観察しました。日暮れとともにどんどん寒くなり外の気温は約2℃。しかし、氷のように冷たくなった望遠鏡から見えた土星には、くっきりとした輪を確認することができました。

現在、土星はおうし座を逆行中で、オリオン座の上側に輝いています（光度－0.3等）。ちょうどオリオンの四角形の上辺に対して、三ッ星と線対称の位置の付近になります。また、地球と土星の位置関係から、土星の輪を斜めから見られる時期でもあるので、観測好期といえます。左（東）に目を移すと、一際輝いている星があります。それは木星です（光度－2.5等）。こちらは現在かに座を逆行中。望遠鏡で見ると、木星特有の縞模様らしき横線(!?)が確認できました。

(Higuchi)

四季折々（一月の俳句）

寒鯉は車庫の電車か動かざり　　高宮　惇

皆同じ音を立て踏む霜柱　　雄

寒雀枯葉の色に混ざりけり　　康晴

これらの句は、在校生の諸君が創作したものです。
鯉は、教員室直下の防火用水に、スズメは本校のいたるところにいます。
霜柱は、土壌中の水分が毛管現象で吸い上げられながら結氷してできるものですが、
東久留米市にある自由学園の女子学生達がまとめた優れた研究が知られています。

執筆・担当区分	俳句	本井　英 (Motoi)
	天文・気象	樋口　聡 (Higuchi)
	鳥類他	速水　淳子 (Hayami)
	樹木・小動物[&発行責任]	宮橋　裕司 (Miyahashi)